



暖かい心 広い視野 行動力 『県民ひろば号外』

もりちゃん通信

大分県議会議員 守永信幸活動報告

発行責任者
大分県議会・県民クラブ
守永 信幸
〒870-0022
大分市大手町3-1-1
TEL 097-506-5088
FAX 097-538-0136

『県民の声を国政に繋げるために』

衆議院議員選挙が終わりましたが、安倍政権から菅政権そして岸田政権へと繋がる与党の1強体制への批判の声はどこに行ってしまったのでしょうか。与野党の重鎮が選挙区で敗退したという現象が見受けられました。それだけ厳しい選挙戦が展開されたのだらうと考えますが、結果として与党が圧勝する結果となりました。頼れる野党として国民の信託を得られなかったことを真摯に受け止め、これからの取り組みを考えなければなりません。

私たち地方議員が、住民の皆様の声をしっかりと受け止め、各課題の解決策を地方議会で議論すると共に、国会での議論を支えて、制度・施策に反映させ、多くの方々の笑顔に繋げて行く覚悟です。引き続きよろしくお願い致します。

9月県議会の議論

第3回定例県議会（9月議会）では、2020年度の一般会計をはじめとする決算議案が提出されました。また大分空港と大分市を結ぶホバークラフトの製造委託契約や大分市側の発着基地整備用地の獲得などの議案について審議しました。空港へのアクセス問題については様々な課題が残されていますので、将来的に県財政の負担とならないようにチェックをしていく必要性があると考えています。

2020年度決算の審査

決算議案については、決算特別委員会（構成21名）が設置され、9月議会閉会後に審査が行われました。約170項目に渡る質問がなされ、次年度予算に反映すべき意見としての提案も議員から執行部へ投げ掛けられました。

2020年度の普通会計決算は、県税徴収強化による歳入確保や事務事業の見直しなどに積極的に取り組み歳出縮減努力をしてきたものの、新型コロナウイルス感染拡大防止及び社会経済の再活性化や2020年7月豪雨災害からの復旧・復興などに取り組んだことから、2020年度末の財政調整用基金残高は、「大分県行財政改革推進計画」の目標額を約31億円下回る299億円とな



▲比例代表区での当確を決めた吉川はじめ

りました。新型コロナウイルス感染症等の影響による不測の事態にも柔軟に対応できるよう、常に事務事業の検証を行い、選択と集中やスクラップ・アンド・ビルドに取り組み、今後も、最少の経費で最大の事業効果を上げられるよう工夫を凝らすとともに、職員の労働環境も整え、一人一人が持てる能力を遺憾なく発揮できるよう体制を整備すべきと考えます。

今回まとめた審査報告書では、個別事項として①主要な施策の成果（事務事業評価）の新型コロナ禍の下での評価の有り方、②マリンカルチャーセンター廃止を踏まえての指定管理施設の検証、③大分空港への海上アクセス整備に関連する地域公共交通への影響や安定運営、④保健所職員及び県立病院医師の時間外勤務縮減、⑤青少年のネット利用に関する意識向上、⑥先端技術の活用、⑦大分県農業非常事態宣言、⑧建設産業構造改善・人材育成支援事業、⑨教員が働きやすい学校現場の環境整備等について議会としての意見を付けることになりました。

暮らしの相談承ります。

政治は暮らしに直結しています。
守永信幸が暮らしの相談を承り、専門家とともに解決をめざします。まずは、お電話を！

TEL 097-506-5088
FAX 097-538-0136

ホーバークラフト造船事業者が決定

大分空港と大分市をつなぐ海上交通手段にホーバークラフトが選定され、造船事業者の一般競争入札の結果が報告されました。入札は、8月12日に開札し、「グリフォン・ホバーワーク・リミテッド（代表者：エイドリアン・ウェント）」の落札が決定。落札金額は約41億65百万円。8月23日に仮契約を締結し、9月議会の採択を経て、本契約が締結されます。主な仕様は下表の通り。

ホーバークラフト造船事業者が決定したことにより、船舶の設計及び建造に係る管理・監督業務（船主監督代行業務）を委託により実施する債務負担行為も認められ、船舶の設計・建造が開始されます。

課題の整理と対策の議論を

具体的に導入準備が進む中で、発着場周辺の住民の皆さんの不安や、大分市側の発着場の交通問

題、更には大分市と大分空港を結ぶバス路線を運行する事業者への影響についても、新たな課題とならないよう対策を講じさせねばなりません。

空港バスを運営する大分交通(株)は、ホーバークラフト就航に関して、空港バスに与える影響等について質問を大分県に投げ掛けています。特に空港バスの収益部分で、一般路線の赤字を補いながら路線維持をしている状況が大きく変化し、ひいては会社の存続が危ぶまれることを心配しています。



▲グリフォン・ホバーワーク社 12000TD。
英国ポーツマス～ワイト島を運行する船体
写真提供：大分県交通政策課

ホーバークラフトの主な仕様

【主要目】	最大搭載人員	80名以上
	最高速度	45ノット（時速約83km）以上
【船内設備】	荷物スペース	500kg（40Lキャリーケース40～50個相当）
	自転車スペース	4台以上
	車椅子スペース	1カ所以上
【エンジン】	高速ディーゼル	2台（浮上用と推進用兼用）
【プロペラ】	推進プロペラ	2台（直径約3.5m・可変ピッチプロペラ5翼）
【その他】	日本国政府（JG）の型式承認を得た艀装品等の装備 部品供給及びメンテナンス体制の日本国内での構築 運航事業者への教育訓練の提供（費用は運航事業者の負担）	

県からは、大分空港の利用客の増大を見込む中で従前の交通アクセスに戻すだけの説明がなされていますが、将来的な変化にどの様に対応出来るのかは誰も明確に指し示すことは出来ません。これらの課題は、地域で暮らす皆さんの生活基盤をどの様に支えていくかという大きな課題ですから、県議会としても、しっかりとした対応を求めています。

ホーバークラフト発着地の土地取得について

大分市側のホーバークラフトの発着地の用地取得については、西大分地区の遊休地等を大分県土地開発公社に委託して取得する提案がなされました。面積は約2万5千平方メートルで、取得費用として、用地費約7億円、補償費6千5百万円が計上されています。

地域住民への説明会でも質問が上がっていましたが、ホーバークラフトを利用する方々が発着時に集中する中で、慌ててホーバー基地へ駆け込む旅客と、周辺で大型運搬車輜を使用する企業とでトラブルとならないよう整備計画をしっかりと詰める必要があります。

大分県の魅力に巡り会う ホーバーターミナル

ホーバークラフトのターミナルの設計については、2025年大阪・関西万博の会場デザインを手掛ける藤本壮介さんの藤本壮介建築設計事務所（東京都）と松井設計（大分市）の共同事業体（JV）が担当します。

提案されたターミナルは「大分県の魅力と巡り合う」がコンセプト。大分市側は3階建てで、別府湾に向かって緩やかに屋根が高くなる外観1

自分らしく生きるために パートナーシップ・ファミリーシップ宣言制度

パートナーシップ宣言制度とは

白杵市で今年4月からパートナーシップ宣言制度が始まりました。豊後大野市でも来年4月からの導入が決定しています。パートナーシップ宣言制度とは、人生を共に暮らすパートナーとして選んだ人が、法律上の配偶者と認められない場合に生じる生活上の不利益を和らげる行政としての合理的配慮を講じる措置です。

白杵市がトップで導入

大分県下では白杵市がトップを切ってパートナーシップ宣言制度を導入しました。白杵市のパートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱には、「白杵市人権教育・人権啓発推進基本計画の理念に基づき、市民一人ひとりがお互いを尊重し合い、心と心のつながりを大切にしたい真に豊かでゆとりのある社会の実現を目指し、パートナーシップの宣誓に係る取扱いについて必要な事項を定める」と書かれてあります。

家族として暮らすために

誰もが、温かい家庭に生まれ、育ち、そして歳を重ねていけることに喜びを感じると思います。人それぞれ感じ方、受け止め方は異なりますし、家族の有り様も様々。しかし親子の間には、別れがやってきます。次の世代に繋ぐ家族の有り方の中に、同性との暮らしを志向する方も存在し得ることへの理解が大切だと考えます。

また一方で、身ごもった子を育てることが出来ない人がいることも事実。これは私の勝手な思いに過ぎないことですが、同性のパートナーたちが、子どもを引き取り温かい家庭を築くことが出来れば、幸せな家庭環境の中で暮らせる人が増えるのではないのでしょうか。豊後大野市で来年から始まる制度では、ファミリーシップ制度としてつれあいだけでなく家族として暮らす方々をもサポートするものとなっています。



一人一人の感性を大切に

「お前は男だろ」とか「女のくせに」とか言われながら育った方も少なくないと思います。中にはそれが辛くて、「どうして男(女)なんかに、生まれたのだろう」と悩む人もいます。死にたいという思いを抱く幼い子どもたちが、様々な大人の生き方を見て希望を見だし、自分は自分と割り切って生きる社会が、多様性を認め合う社会なのだろうと考えます。

これは、自分勝手にわがままに暮らしていくことは、明らかに異なります。一人一人が、きちんと周囲から認められて生きていける社会の有り様として、深めていくべきと考えます。

まだまだ残される課題

パートナーシップ宣言制度等は性的少数者等への配慮に過ぎず、トラブル回避のためには国の法的な整備が残ります。パートナーシップ制度を導入して1年となる新潟市は、「相続する権利など法的効力がないことから、財産の継承者と相続権者との間での理解がなければ、大きな問題に発展することが懸念されます。また、社会的に理解されないままでは、宣言制度の活用は単にカミングアウトでしかなく、結果的に地域に居づらくなるケースも危惧されます」等の課題を示しています。

しかし、法的な整備に向けての第一歩を踏み出せるチャンスとして、また生き辛さを緩和する方策として、県も積極性を持って取り組んで頂きたいものです。

編集後記

第49回衆議院議員総選挙、2区「吉川はじめ」は惜敗率99.17%とほぼ互角の闘いとなったが、征することは出来なかった。▶吉川に結集した方々は、最後まで精一杯闘ってくださったと感じた選挙だった。選挙区では勝利出来なかったものの、九州ブロック比例代表として議席に就くことが出来た。▶それでも何故勝てなかったのか、という疑問は残る。あと何をすれば勝てるのか。その答えを見つめるために、吉川代議士と一緒に、地域に入り、会話を重ねるしかないのだろうとつくづく思う。

お知らせ

- ◇常任委員会は「農林水産委員会」に所属。
- ◇行政や暮らしの相談をお受けしています。
お気軽にご連絡下さい。
- ◇グループでの集まりなどに、お声がけ頂ければ、日程を調整の上、参加させていただきます。
- ◇守永信幸後援会の会員を随時募集しています。
年会費3千円です。守永の活動をご支援下さる方、ご連絡下さい。

連絡先：097-532-4919
FAX：097-534-6598